

## 抗議文

### 米比・米韓合同軍事演習弾劾！ 沖縄ー「本土」ーアジアから米軍は総撤収せよ！

米軍は、2012年4月16日から約2週間の日程で、フィリピン国軍とともに、米比合同軍事演習「バリカタン」を開始した。われわれはアジア太平洋地域の軍事緊張を煽るこの軍事演習の強行を強く弾劾する。

今回のバリカタン演習は、米軍4500人、フィリピン国軍2300人が参加するとともに、その演習地にスプラトリー（南沙）諸島に近いパラワン島を含むなど、中国への牽制・対抗をむき出しにしたものになっている。米国はまた、海兵隊のフィリピン駐留や艦船の配備など米軍のフィリピンにおけるプレゼンスをますます強化しようとしている。われわれはまた、今回のバリカタン演習への自衛隊の参加を通じて、日米軍事一体化、日米のアジア太平洋地域に向けた侵略戦争態勢の強化を図ろうとする日米政府の策動を断固弾劾する。

他方、朝鮮半島においては、2月27日から4月30日までの日程で大規模な米韓合同軍事演習「キー・リゾルブ/フォール・イーグル」が、一万人以上の米兵を動員して展開されている。これに加えて3月末からは米韓海兵隊による実働上陸訓練「双竜訓練」が実施された。これらは朝鮮民主主義人民共和国に対するあからさまな侵略戦争準備に他ならない。日米韓の各政府は、共和国による人工衛星打ち上げを長距離弾道ミサイルの発射実験だと決めつけて「北朝鮮脅威論」を煽り立てきた。その一方で行われているこの日米韓による共和国に対する戦争挑発・戦争準備をわれわれは徹底的に弾劾する。

今年1月の米国・オバマ政権の「新軍事戦略」=アジアにおける米軍プレゼンスの強化と相前後して、オーストラリアへの海兵隊の駐留開始、フィリピン、ハワイ、韓国などへの海兵隊のローテーション配置、米軍の使用を前提とした済州海軍基地建設など、アジア太平洋地域における米軍の展開態勢を強化するための策動が広がっている。われわれは、フィリピン、韓国をはじめとしたアジア太平洋地域の民衆と連帯し、このような動きに対して、断固とした共同の反撃をつくりだしていく。

日米政府は今、米軍再編の「見直し」の名のもとで、在日米軍基地と日米軍事同盟のいっそうの強化に踏み込もうとしている。沖縄での辺野古新基地建設策動や高江ヘリパッド建設策動を継続したまま、岩国基地へのオスプレイ配備や海兵隊移駐を策動し、さらなる日米軍事一体化を進めようとしている。さらに普天間基地の大規模補修=基地の固定化さえ策動されている。われわれはこのような策動を徹底的に弾劾する。

われわれは、アジア太平洋地域の民衆、沖縄・岩国・神奈川など米軍再編とたたかう現地住民と連帯し、日米軍事同盟強化に反対するたたかいをさらに強化・発展させていく。アジアー沖縄ー日本「本土」を貫いて強化されようとしている米軍展開態勢と日米軍事同盟に対して、われわれはたたかいをさらに強力に展開していく。日米軍事同盟粉碎！米軍はアジアから総撤収せよ！

2012年4月16日

アジア共同行動(AWC)日本連絡会議  
アメリカ領事館抗議行動参加者一同